平成 24 年 3 月 26 日　No.３７

総合学習センターだより

発行：相模原市立総合学習センター
〒252-0239 相模原市中央区中央 3 丁目 12 番 10 号
ＴＥＬ０４２（７５６）３４４３
ＦＡＸ０４２（７５８）８１４６
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://www.sagamihara-kng.ed.jp

家庭でできる性教育

「さわやか」改訂版

「さわやか」は、平成５年に初版が発行され、これまで小学校１年生の家庭に配付してきましたが、社会環境や子どもの実態の変化を考慮し、全面改訂となりました。平成２４年度からは改訂版を小学校４年生の家庭に、ダイジェスト版を中学校１年生の家庭に配付します。改訂版は、命の尊さの理解、しっかりと考える人間性の育成など、生きていくために必要な性について全１６ページにまとめています。

＜主な内容＞
- Ⅰ　性教育のめざすもの
- Ⅱ　性教育における家庭の役割
- Ⅲ　ライスステージ別にみる心とからだの変化
- Ⅳ　性被害・性非行の実態と防止
- Ⅴ　性にかかわる主な疾病および情報
- Ⅵ　主な相談機関

※改訂版につきましては平成２４年４月から総合学習センター、市役所情報公開コーナー等で販売する予定です。

情報安全モラルハンドブック

新学習指導要領には情報モラル教育の必要性が明記され、学校教育において子どもたちが情報を正しく活用できるように指導することが求められています。

これを受け、総合学習センターでは、小中学校の先生方とともに『**情報安全モラル学習「相模原」プラン**（小１～中３までのカリキュラム）』と『**情報安全モラルハンドブックダイジェスト版**（小５・中１向け読み物資料と指導案）』を作成しました。作成したものは、授業用パッケージにして、全校に配布します。

また、来年度は、全学年分の作成に取り組みます。

「 地域をつなぐ子どもの力 」

総合学習センター所長　鈴木　康仁

ある日曜日の朝、久しぶりに子どもたちが外で遊ぶ、にぎやかな声が聞こえてきました。最近は近所に遊ぶ場所がないので、子どもたちの声を聞くことはなかったのですが、その時は小さな路地で５，６人がボールを使って遊んでいました。思わずうれしい気持ちになり、どんな遊び方をしているのか様子を見に行ってみました。そして、「将来はこの子たちが地域の中心になるんだな」と思い、この子たちをもっと地域で育てることが必要ではないかと感じました。

子どもの遊びについては、さまざまな課題があると思いますが、その一つに「最近は遊べない子どもが増えている」と聞きます。遊びというのは子どもの自由な時間だから、大人は何もすることがないと言う考え方もありますが、遊べる環境をつくるのは私たち大人の役割だと思います。また私は、子どもたちにとって「遊ぶ」というのは、呼吸をすることと同じことかなと思っています。呼吸は自然の行為であり、成長するためにはたくさん吸ってたくさん吐き出すことが必要です。つまり、呼吸のようにたくさん遊んで、たくさん楽しんだり悩んだり（友達関係）することが、子どもたちの成長には必要だと思っています。そしてどちらかと言えば、吸うことよりも、思い切って吐き出すことの方が大切だと思います。なぜなら、遊びは子ども自身が自分の内にあるものを表現する活動であり、その過程で相手との関わり方を学んだり、工夫することの楽しさを味わったりすると思うからです。

東日本大震災から一年が過ぎました。「絆」という言葉が改めて見直され、お金では買えないものへの価値観が大切にされるようになりました。これからは人と人がつながること、地域がもっとつながることが必要だと思います。そのためにも、地域で子どもたちを育てることに関心をもち、「地域でどのような子どもを育てていくのか」、「具体的に何を実現していくのか」等の目標を地域で共有することが大切です。地域が協力して子どもを育てることが、実は地域をつなげることになると思うからです。